

ずし
スポ
推
だ
より

-第22号-

令和8年度総会報告

四月十日(金)令和8年度総会が逗子市役所会議室において開催され、令和7年度事業・決算報告、令和8年度の事業・予算案は原案通り、ご承認頂きました。

會長挨拶

(松井 弘喜)

令和八年度スポーツ推進委員協議会
は、45名の体制でスタートしました。

若干ではありますが顔ぶれも変わり再スタートです。

私たちはいままで、「誰でもが楽しめるスポーツ」を合言葉にいくつかのスポーツを紹介してきました。昨年度は私たち主催のボッチャ大会に埼玉県やお隣鎌倉市の本格的なチームが参加するなど思わぬ広がりがありました。

本年度は新たにニュースポーツを加えて
こうと計画しています。

そのために皆さんの協力が必要となります。是非皆さん活動に参加してください。

令和8年度の主な行事予定

3月		2月	1月		12月	11月			10月			6月		5月	4月	
下 旬	14日 (日)	7日 (日)	17日 (日)	10日 (日)	5日 (土)	23日 (祝)	5日・ 6日	3日 (祝)	24日 (土)	18日 (日)	12日 (祝)	14日 (日)	5日・ 6日	16日 (土)	25日 (土)	10日 (金)
さくら祭り	第7回ポッチャ大会&体験会	県スポ推委員大会（小田原市）	ニュースポーツ体験会	逗子市内一周駅伝	ふれあいフェス in ずし	県スポ推研修会	全国スポ推研究協議会（群馬県）	池子の森マラソン	横三ブロック研修会（逗子市）	市民まつり	体力テスト会	スポーツの祭典	関東スポ推研究大会（栃木県）	スポ推実技研修会（救急救命・他）	三浦半島統一メーデー	スポ推（総会）

令和7年度の活動報告

実技研修会

五月十七日(土)逗子アリーナにて救急救命とピックルボールの研修を実施。

スポーツ推進委員になり、二年目になります。今回救急救命の講習を受け、心肺蘇生法や、AEDの使用方法を学びました。それに加えて、テレビ電話を使い、救助のアドバイスを受けられる新しいシステムを体験することができました。

ショートメールでやり取りをし、画像をお互い見られることにより、スムーズに状況を説明することができました。緊急時には、落ちついて正しい状況判断することが難しかったため、心強いシステムだと感じました。

救急救命は自分の身の安全を確保すること。一人で対応せず協力者を求めること。基本的なことではありますが、改めて気づくことができました。



心臓マッサージの圧迫ペースはリズムを取って・・・

スポーツの祭典

より多くの人が知識や技術を身に付けることにより、一人でも多くの命を救う手助けができると思っています。冷静に対応するために、定期的に受講したいと思いました。

（山の根 堀越 泉）

六月一日(日) 逗子アリーナや第一運動公園などで開催。

赤ちゃんハイイレースにはたくさんの方々が参加してくれました。6メートルほどの距離をハイハイして進みます。

スタートの合図と同時にお父さんお母さんはそれぞれお子さんの好きなアイテムを駆使して、なんとかゴールまで進ませようとしますが、思うようには進んでくれない。隣のレーンに行つてしまつたり、ピクリとも動かなかつたり、泣いてしまつたり……それでもなんとかみんなゴールに向かつてハイハイする姿に、見ている私たちも思わず、がんばれー！と応援してしましました。赤ちゃんの可愛さにとつても癒されたハイハイレースでした。



パカポコレースも楽しそうに参加しました

(久木 山口 順子)

体力テスト会

十月十三日(祝)スポーツの日に返子アリーナで行なわれました。

今回の参加者は、20才から64才までは41名、65才以上は38名、幼児は25名でした。今年は参加者が多くて大盛況でした。毎年この位の人達が参加して下さるのでしたら、もう少し時間を長くしても良いのではないかと思います。

私は10m障害歩行の担当で、この種目は65才以上の方が対象です。80才以上の方が7名程来りましたが、皆さんとても姿勢が良く、80才代とは思えないくらいお元気そうで、体力テストを楽しんでおられました。

私もこの方達のように健康に年を重ねられるといいなと感じました。

12時から13時25分まで、今回初めてのニュースポーツ体験が行なわれました。ピックルボール、ボッチャ、コーンホールの三種目です。



10m障害歩行:障害物を飛び越えて行っ
ては、いけません。

参加者は48名で、ピックルボールは特に人気があり、順番待ちが出る程でした。後半は試合をして楽しんでいました。来年も是非開催して欲しいと思います。

(沼間 田中 邦江)

横三ブロック研修会

(三浦市担当)

十月二十五日(土)に三浦市総合体育館で行われました。今回はコーンホール、ベースボール5、ラクロスの三種目を15人ずつに分かれて体験学習をしました。

コーンホールは返子市でもお馴染みの競技ですが試合形式で実施されました。

ベースボール5は野球をもとにした5人制の都市型のスポーツで、体育館の中で専用のゴムボールを攻撃側が素手で打ち守備側が捕り投げてと、野球のルールに似た競技です。

ラクロスは北米先住民の伝統的な球技で、クロス(スティック)と堅いゴム製ボールを使いゴールを奪い合うフィールドで行う競技です。今回は体育館で柔らかいボールを使用しクロスの使い方、ボールキヤッチ・パス・シュートの練習から始まり、試合形式の練習までを行いました。三浦のクラブチームのメンバーによる丁寧な指導によりラクロスの楽しさを体験出来ました。

(池子 清水 勲)



シュートの練習に熱が入ります

第66回全国スポーツ推進委員 研究協議会(長野大会)

十一月十三日(木)、十四日(金)の二日間、長野県長野市ビッグハットに於いて、「行こう!地域スポーツの頂きへ」(日本のアルプス信州からスポーツのつながりを全国へ)をテーマに開催され、返子市からは、福本が参加しました。

午前中は歓迎アトラクションで、「高山村アルプホルンクラブと仲間たち」と、長野県長野商業高等学校チアリーディング部による演技に魅了しました。

午後からの表彰式で、福本が全国功労

者表彰を受け、大変嬉しく感謝申し上げます。

表彰式後の基調講演では、出口クリスタ氏(パリオリンピック柔道女子57kg級金メダリスト)が演題「今日を生き抜く」を熱弁されました。カナダ出身の父と日本人の母を持つハーフとして生まれ、3歳から柔道を始め21歳でカナダ代表に選出され28歳でパリ五輪金メダルを獲得されました。練習がきつく何度も辞めたいと思った小学生時代もあったそうです。それでも中学・高校時代全国で頭角を現し、高校1年で全国優勝したことで勝つことの楽しさを感じた。と話していました。「未来を生き抜く」よりも「今を生き抜く」大切さを感じたそうです。

私も健康維持を兼ねてスポーツを続け、スポーツ推進委員の皆さまと共に返子市のスポーツの振興に努めていきたいと思えます。ありがとうございます。

(池子 福本 藤彦)



福本さん、おめでとうございます。

県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)海老名市総合体育館でカローリング、えびな玉入れ、たまビンゴの実技研修が開催され返子からは松井会長と他二名が参加しました。

カローリングはカローリングに似た室内競技でストーンの代わりにローラーの付いたジェットローラーを使用。大変興味が沸きました。

えびな玉入れは100個位の玉を高さ3.5mの籠に投げ入れ、タイムを競うものですが、意外と重い球で、籠も高くてなかなか入らず汗をかきました。

たまビンゴは一メートル四方のマスが縦横5個ずつ並んだ所に、縦・横・斜めに3個以上のボールを並べて個数に応じた点数を競うもので、場所も取らずポッチャのボールを活用できるので返子でも実施可能です。

(桜山 武藤 浩二)



カローリング



たまビンゴ



えびな玉入れ

関東スポーツ推進委員

研究大会(山梨)

六月二十七日(金)・二十八日(土)山梨県甲府市小瀬スポーツ公園武道館アリーナで「スポーツと文化の融合」地域を繋ぎ 地球を生かし 地域を元気に」をテーマに開催され、返子からは笠原委員が表彰されました。

笠原委員、おめでとうございます。

ニュースポーツ体験会

一月十八日(日)返子アリーナにてピックルボール、コンホール、ボッチャ、たまビンゴ、モルックの5競技の体験会が開催されました。

担当したピックルボールはテニス・卓球・バドミントンの要素を組み合わせた、アメリカ発祥のラケットスポーツです。バドミントンコートとほぼ同じサイズのコートで、穴の開いたプラスチック製のボールをパドルで打ち合います。

このスポーツは、年齢や性別を問わず誰もが楽しめる手軽さと、奥深い戦略性を兼ね備えています。

今回の参加者も、昔テニスをやっていた70代のご夫婦、中学校のテニス部、スポーツ経験の無い小学生、そしてプロテニスプレーヤーと幅広い世代の方々でしたが、楽しくラリーが出来て多くの方に喜んで頂く事が出来ました。

(返子 野崎 真生)



コンホールのコーナー

県スポーツ推進委員大会

二月一日(土)今回は横須賀文化会館で行われ、県内各地から大勢が参加、その盛大さにびっくりしました。開会前のアトラクションでの海上自衛隊の和太鼓は圧巻。続いて近代五輪2024銀メダリストの佐藤大宗選手の公演「執念と覚悟」はそのリアルな感情と気持ちのダイレクトに伝わり素晴らしい内容だったと思います。来賓方のご挨拶の後、表彰式が盛大に行われました。今後もスポーツ推進を通し地域の皆さんに新しい競技や健康楽しさを広めて参りたいと思います。

返子からは、浅川委員、高田委員、野崎委員、宮澤委員、吉井委員の五名が表彰されました。おめでとうございます。

(新宿 前田 有希乃)



閉会后、残っておられた吉井さん(左)、宮澤さんは、記念撮影を・・・

第73回逗子市内一周駅伝大会

一月十一日(日)市内地域対抗10チーム、団体対抗34チーム、合計44チームでの開催となりました。5区間21.7kmを各チーム好天の中競い合いました。

池子チームは、A・B2チーム編成でのエントリーとなりました。Aチームは、3区まで高校生とベテランで上位をキープし3・2・2位と棒を繋ぎ、4区の吉澤選手がトップを奪うと、アンカーの小野選手がリードを守り切り、2年ぶりの優勝を掴むことができました。Bチームは、オーブンでの記録となりましたが、中学生の力強い走りとベテランの健闘で走り抜くことができました。

毎回チーム編成で悩みますが、池子チームは、学生からベテランまで層が厚く



池子チームの皆さん、おめでとうございます

楽しみながら勝負できる強いチームだと思えます。来年も優勝を目指し頑張ります。

最後に、大会運営の関係者及び沿道で応援して頂いた方々に深く感謝を申し上げます。

(池子駅伝チーム監督 鈴木 保則)

ボッチャ大会

三月十五日(日)第6回ボッチャ大会&体験会が開催されました。まず、23名の役員で試合コート4面、練習コート2面の設営を行いました。

参加者は1チーム3〜4名で12チームの参加となりました。今回は車椅子の方が5名参加され、各々別チームに別れて試合を楽しめました。試合は3チームずつA・Dコートに分かれリーグ戦で行われ、各リーグで順位が決定したのち順位トーナメント戦が行われました。

決勝戦は、マイボール持参の他市から参加の「かまくらキートス」対「ほぼほぼ同い年」となりました。松井会長主審のもと白熱した試合が繰り広げられました。参加者や役員も一投一投に目が離せない一戦でした。

結果は僅差で埼玉から参加した「ほぼほぼ同い年」の勝利となりました。

先輩委員に教えて頂きながら、リーグ戦での主審もさせて頂きましたが、参加者の方々が競技を楽しめるように、もつと競技ルールについて学んでいきたいと思っています。

(小坪 小野 千恵子)

令和8・9年度 逗子市スポーツ推進委員名簿

逗子	津久井 加代子(常任)	池子	福本 藤彦	久木	鈴木 美枝子
	江島 博		笠原 恵子		石渡 眞澄(常任)
	反田 由佳理		中村 正喜		竹下 志浩
	村田 祐子		清水 勲		高田 次郎(会計監査)
	野崎 真生		初谷 奈美子		宮澤 久美
桜山	蒲谷 昇(会計監査)	沼間	小林 広至	小坪	宮崎 晋
	黒川 正孝		祐野 友里(常任)		山口 順子
	澤 美咲子(会計)		平井 規之		小野 千恵子
	伊東 やちよ		鈴木 繁昭		佐藤 千香(副会長)
	下山 安寿美		高橋 妙子(常任)		高木 彰(副会長)
山の根	武藤 浩二(常任)	新宿	児玉 豊子		神戸 幹雄(常任)
	峯尾 尚子(常任)		田中 邦江		本屋 啓一
	高橋 進吾		野添 宏次		近藤 雅江
	浅川 尊美		松井 弘喜(会長)		湯浅 正秀(新任)
	堀越 泉		吉井 浩(常任)		
			御館 康成		



判定結果を書き入れていきます

広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・津久井加代子
松井弘喜・佐藤千香・高木 彰

発行／逗子市スポーツ推進委員協議会

事務所／逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課

TEL／046-873-1111 (内線277、278)

発行責任者／松井 弘喜

編集後記

スポーツ推進委員は、逗子市より委嘱された人達です。逗子の8地域より地域体育団体協議会の推薦により成り立っています。数年前までは60名位いた推進委員が、現在は45名になっています。推進委員の減少の中で若い世代に変わっていくと良いのではないのでしょうか。

(A. T)